

●小1・小2の部 阿部穂佳さん（7区）

わたしは、10年ごの入谷にあってほしいものが4つあります。

1つ目は、ウジェスーパーです。わたしたちは、いつも買いものをする時に、佐沼の黒沼じゅうもんじのウジェに行きます。とおくてたいへんなので、入谷にもウジェができたらいいなあとと思います。

2つ目は、びょういんです。近くにびょういんができたらいいなあとと思います。わたしのばあちゃんが、こしがいたい、ひざがいたいと言うし、わたしたちがねつをだしたり、かぜをひいたり、インフルエンザになつたりしたらたいへんなので近くに、びょういんがあつたらいいなあとと思います。

3つ目は、サンポートがあつたらいいなあとと思います。

わたしは、しづがわにサンポートがあつたころ、つくえにおけるくらいの、小さなたんすを買ってもらいました。それから、スプーンやフォーク、はしも買ってもらいました。それに、サンポートがないとお母さんたちもこまってしまう。だから、サンポートが入谷にあるといいなあとと思います。

4つ目は、みんなであそぶ広い広いこうえんがあつたらたのしいなあとと思います。しづがわのこうえんは、ひがし日本大しんさいのつなみでながされてしまいました。だからあそぶところがないので広い広いこうえんができたらいいなあとと思います。こうえんには、ブランコ、てつぼう、ジャングルジム、わたりてつぼう、シーソー、すべりだいなどができてほしいです。

10年ごに、わたしは18さいになっています。かいしゃで、じむのしごとをしていると思います。わたしははたらくかいしゃが、入谷にあつたらいいなあとと思います。

●小4の部 菅原里菜さん（10区）

10年後、わたしは20才になっています。

入谷には、今よりも家や人口がふえ、お店もたくさんできていると思います。なぜそう思うかという今回の津波で、入谷の人達はひなんしている人達に毎日、おにぎりを作ったり、寒い夜には、もうふを集め、ひなん所にとどけたりしました。電気も水道もないじょうたいで1日3食のおにぎりを毎日とどけられたのは、入谷の人達のちえと、自分達がやらなくてはという強い思いとあたたかい心だだと思います。

そんな入谷の人達のあたたかさをひなんしていた人達は、きつとうれしかったと思います。今、かせつ住たくに入っている人達の中には、きつと入谷に家を建て、住みたいと思っている人がたくさんいると思います。たくさん家が建てば、お店もふえると思います。

入谷のとれたて、しんせん野菜も今以上にたくさんの人に食べてもらえると思います。

野菜を食べた人は、元気になり、ますます入谷も元気になり、わかい人も年をとった人も仲良く住みやすい入谷になっていると思います。

入谷にたくさんの人がふえれば今、私達が教えてもらっているでんとう行事の入谷打ちばやしも受けつぐ人達がたくさんになると思います。八まん神社のお祭りには、オクトパスのおみこしをかついでたくさんの人達で打ちばやしをしていると思います。

20才になった私は、生まれ育った入谷でとても楽しく元気にくらしていると思います。

10年後の入谷は、みんなしあわせにくらしていると思います。

●小5の部 阿部俊佑くん（7区）

震災からもうすぐ1年になろうとしている。まだ、志津川の町ではたくさんのがれきがいろんなところに残っている。

今ぼくは10才。これから10年後には、20才になる。その時、志津川の町や入谷はどうなっているだろう。

震災前には、志津川に行くと、いろんな買い物ができたり、遊ぶところもたくさんあつたりした。病気になっても、志津川へ行けば病院もあつた。でも今は、以前のような志津川ではなくなってしまった。

この先、入谷が志津川の中心となるのではないかとぼくは思う。

例えば、大きな病院が入谷の中心にできたら、急病の人もすぐに病院に行けると思う。それに、遠くまでわざわざ通院しなくてもよくなるので、じいちゃん・ばあちゃんも楽になるのではないだろうか。ぼくのばあちゃんも、前に通院していた病院が津波でなくなり、登米市まで行かなくてはならないのでぼくは大変だと思う。だから、ばあちゃんのためにも、入谷に病院ができたらいいと思う。

買い物も、ウジェスーパーやサンポート、魚屋さんなどがあったので買い物も時間がかからずできた。今は、全部がなくなってしまい、ほしい物が、すぐに手に入らないので大変だ。お母さんが仕事の帰りに買い物ができないので大変だとよく言っていた。だから、入谷の中心に大きなスーパーができたらいいと思う。そうすれば、10年後には、入谷の人口も増えて、とてもにぎやかな町になっているのではないかと思う。

今、入谷には、野球やサッカーができる場所がない。じいちゃん・ばあちゃんがグラウンドゴルフもするところもなくなっているので子供達やじいちゃん・ばあちゃんが集まって一緒に活動できる場所があったらいいと思う。

ぼくたちが、成人になった頃には、大きな病院、大きなショッピングセンター、それに、野球場やサッカー場、子供達がのびのび遊べる場所ができていると思う。入谷が町の中心になり、役場や消防署などの施設も建っていたらいいと思う。そして、他の地域からも、人々が来て、家を建て人口も増えているだろう。

そして、緑が多いきれいな町になってほしい。

また、20年、30年後には、ぼくたちが人々の中心となり頑張っていることだろう。

●小6の部 小林勇雅くん(3区)

ぼくの住んでいる入谷は高い山や低い山に囲まれ緑がたくさんあり、田んぼや畑もあちこちにあり、小川を流れる水もとてもとてもきれいで飲み水になる所もある。

春には、色々な場所で色々なちょうちょうが飛びまわり、たくさんの鳥の声が聞こえる。

夏には朝から夕方までセミの合唱が聞こえ、秋にはあちらこちらに黄金色の田んぼが一面に広がりその上をたくさんのトンボが飛んでいる。山も赤や黄、オレンジ色にそまってとてもきれいな紅葉が見れる。

冬にはその山々が白い綿帽子をかぶったように真っ白な山がたくさん出来る。都会ではめったに見れない、しかやりす、うさぎなどの動物もあちらこちらで見ることが出来る。それくらい自然豊かな土地です。でも1つだけ入谷で見れないのが海。南三陸町の中でも山ぞいにあるため海が見えない。

ぼくは、自然がいっぱい入谷も大好きだけど、南三陸町の海も大好きです。だから10年後の入谷を考えた時、ぼくはそのきれいな海かきれいな山々と一緒に一望出来る高い場所や建物ができて、その周囲には木材で出来たレストランがあって、そこでは、山で採れた山菜や海で採れた魚や貝など新鮮な食材で作る料理が食べれる。

動物たちが自然に暮らしながら、それをじゃましないようにその生活を観れる。大きな、広い自然動物園が出来ている。

田んぼや畑もある程度残し、住民の生活に必要な物や食材が近くで買えるように、スーパーや薬局などの店が出来ているがその建物も、ちょっと工夫してタコの形だったり、木の形だったりしている。

道路は、全て車イスの方やお年寄りの方でも歩きやすいように工夫されている。

所々に木材で出来た公衆トイレもあるなど、たくさんの方が住めるように土地も整備されて、今は他の町に行っている人々も入谷に帰って来て人口も増えている。

人々が気軽に集まれて、色々な事が出来る場所も所々に出来ていて、常に人々の笑い声が入谷の色々な所で聞こえている。そして、遠くの町からもたくさんの観光客も「ぜひ、行ってみたい」と言う、一度来た人は「ぜひまた来たい」と言う場所になっている。入谷小学校の生徒数も増えて、今よりもっとにぎやかで楽しい学校となっている。

子ども達のそのままの文章を活かしておりますので、ご理解願います。